

うみない

山武市立蓮沼小学校
令和7年度 学校だより
第 20 号
令和8年2月4日発行



【学校教育目標】よく遊び・よく学ぶ はすぬまっ子

【めざす児童像】よく考え進んで学ぶ子ども（知）

心豊かで思いやりのある子ども（徳）

元気でたくましい子ども（体）

避難訓練(火災)を実施しました

1月26日（月）に火災発生を想定した避難訓練を実施しました。避難開始の指示から、避難が完了するまでの時間は3分40秒でした。本校では、火災の他に、地震（津波含む）や不審者を想定した避難訓練を実施しています。

優勝 おめでとう！

1月31日（土）、本校講堂を会場にボッチャ大会（蓮沼むらづくり協議会主催）が開催されました。大人や中学生も出場する中、本校の児童チームが見事に優勝しました！なんとボッチャをやるのは3人とも初めてのことです。それでも、チームで作戦を立てたり、声を掛け合ったりしながら勝利を重ねていきました。元気いっぱいな姿に会場也大盛り上がりでした。優勝おめでとう！

裏面に「大人のための情報モラル通信 SNS等におけるネットリンチについて（千葉県環境生活部 県民生活課 発行）」を掲載しました。「ネット上の正義」が必ずしも本当の正義ではないことを伝えることが重要であるとのことでした。

大人のための情報モラル通信

SNS等におけるネットリンチについて

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

インターネット上では頻繁に炎上が発生しています。令和7年10月にはある高校生が回転寿司店で迷惑行為を行い、その様子をSNSに投稿して大炎上しました。

迷惑行為は許されないものですが、それと同時に、炎上した人に対して「**ネットリンチ**」と呼ばれる過度な批判や中傷、個人情報の晒し行為なども発生しがちです。



「人は**悪意**よりも**正義や義務（社会的な使命感）**を信じたときに残虐になりやすい」…長い歴史を通じて、多くの哲学者や思想家が同様の言説を残しています。

前述の炎上でも、これを体現するかのようなネットリンチが発生しました。「相手が悪いことをしたら何をしててもよい」という考えは、**正義をはき違えた暴力**です。



★ネット上の行動が現実の社会的責任につながる★

ネットリンチをする人は「**悪をこらしめる**」ため多数で執拗に攻撃し、相手を精神的に追い詰めます。そして、自分たちは「**バレない安全圏**」にしていると錯覚しています。

しかし、安全圏にいたはずの人たちは、ネットリンチを行ったことにより警察の取り調べを受けたり、裁判で訴えられたりしています。「バレない安全圏」というのは**錯覚**なのです。

ネットリンチで個人情報を晒されたり、誹謗中傷されたり、脅迫されたりして**自ら命を絶った人**もいます。結果として自分と相手に何が起こりうるかを考えて行動する必要があります。



子どもたちは炎上を含む「SNSで話題の内容」に関心を寄せ、「多数」を「正義」と勘違いし、臆することなく書き込むケースも少なくありません。こうした背景を理解し、「ネット上の正義」が**必ずしも本当の正義ではない**ことを伝えることが重要です。